

曹洞宗 天祐山 公田院 仁叟寺

## 山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

平成21年  
仁叟寺年間行事予定

1/1~1/3 年頭祈祷・年賀受  
 1/4~1/7 年始挨拶  
 1/10 年賀寺例  
 2/3 大節分会  
 2/15 祀尊涅槃会  
 3/8 大般若・大施食会法要  
 3月中旬 筆供養法要  
 3/17~3/23 春季彼岸会  
 4/8 祀尊降誕会(花祭り)  
     併修携帯供養  
 7/13~7/16 京浜地区檀信徒棚経  
 7/29~7/30 第28回子供禅の集い  
 8/10 中元寺例  
 8/13~8/16 孟蘭盆会  
 9/20~9/26 秋季彼岸会  
 10/17 檀信徒参拝研修旅行  
 12/8 祀尊成道会  
 12/10 歳暮寺例  
 12/31 除夜会  
 ※毎週土・日曜日 書道教室  
 ※毎週水曜日 定例坐禅会  
 ※隔週水曜日  
   梅花講・琴教室・華道教室  
 ※宗務所執務日は月水金曜

## 御本尊様修復事業始まる

仏像修復については、当寺報「山雲水月」や総代人世話人合同会議等に於きまして、再三報告して参りました。数度に亘る総代会・役員会を経て、本年度から事業を進めております。

当修復事業につきましては、先般、檀信徒の皆様方におかれましてはご通知を送付させていただきました。お蔭様で現在まで多数の方々のご理解とご賛同を頂戴し、貴重なご寄進を賜りました。謹んで感謝の意を表します。

本尊様の修復は佛教造形研究所が担当し、お盆明け頃からその作業に取り掛かる予定です。また、それまでの御本尊様は、奥平時代の仁叟寺本尊様である薬師如来立像（御本尊様と同様高崎市指定重要文化財）が、御代理を務められる予定です。

なお、ご寄進をまだされておられない檀信徒の皆様方に於かれましては、恐縮でありますが御理解御協力をお願い申し上げます。

↑御代理を務める日本尊の薬師如来立像  
(鎌倉時代作・高崎市指定重要文化財)



## 住所が変更いたしました

去る6月1日に吉井町は高崎市と合併いたしました。それを受けまして、下記の通り当寺の住所が変更となります。関係者各位には、宜しくご訂正の程、お願い申し上げます。尚、変更は住所のみであり、郵便番号・電話番号・FAX番号等の変更はございません。

また、副住職が、高崎市吉井地域審議会審議委員を拝命いたしました。地域のために微力でありますがあなたに所存です。

群馬県多野郡吉井町大字神保1295から群馬県高崎市吉井町神保1295に変更となりました。多野郡が高崎市となり、大字表記がなくなります。

→ 審議委員委嘱状



## 中曾根外務大臣来山

6月13日、地元選出の国会議員であり外務大臣の中曾根弘文氏が仁叟寺に来山され、参拝をいたしました。檀家の木野内恒男氏の亡父が中曾根康弘元総理大臣の秘書を長きに亘って務められ、そのご縁もあり当山への拝登となりました。

以前より、中曾根大臣は、元旦の年賀や2月3日に行われます恒例の「仁叟寺大節分会」にも見えられたりし、拙寺との関係は深いものがあります。また、先代の康弘元総理は、仁叟寺再中興開基であ



↑ 中曾根弘文外務大臣を囲んで（仁叟寺本堂）

ります故寺本欣正サンコーグループ会長の葬儀委員長でもありました。

大臣はまた、麻生内閣では外務大臣を務め、地域のためだけでなく国ひいては世界のために多忙を極めた毎日を過ごしておられます。今回の拝登は住職・副住職・井上総代長のほか木野内氏をはじめ寺院関係者が見守る中、本尊様に手を合わせていただきました。



← 参拝をする大臣

## 祝！住職が大本山總持寺焼香師を拝命

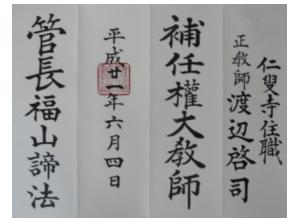
そうかいしょうかく こうおんえひちゃく

## 及び僧階昇格と黄恩衣被着の免許を取得

毎年、秋10月第三土曜日に開催しております恒例の檀信徒研修旅行は、本年は10月12日（月曜祝日）に行ないます。

今回は、第一回目にも参拝いたしました曹洞宗大本山總持寺への参拝研修旅行をいたします。このたび、大本山總持寺での大祖堂にてご開山瑩山禪師様に献供し、焼香するという焼香師という大役を仁叟寺住職が拝命をいたしました。非常に名誉なことであり、大本山總持寺での大法要の導師を務める一世一代の大行事であります。二度とない難値難遇の機会でありますので、一人でも多くの檀信徒の皆様方が、この大法要にご参加いただくことが出来ればありがたく思っております。

また更に住職の教師資格が昇格し、権大教師となり黄色の恩衣被着を許可されることとなりました。そのお披露目もございます。今回は御祝ということで、9,500円の参加金を6,000円とし、大本山總持寺では禪師様への拜問、諸堂拝観、法要参加、記念撮影、精進料理祝膳を、帰路には江戸情緒を遺す川越市内ぼ見学と喜多院様拝観を予定しております。是非この機会に、友人知人お誘い合わせの上、仁叟寺までお申込み下さい。また、京浜地区の檀信徒の皆様にも、



↑ 権大教師  
補任の辞令

↑ 大本山總持寺大祖堂

## 仁叟寺探索-21-

しゅえいじん

### 「朱穎人画伯中国画」

平成7年（1995）に朱穎人・朱鍔親子による中国画展覧会「ほとけと花」が、仁叟寺及び高崎シティギャラリー、伊香保温泉ホテル天坊にて行われました。朱画伯は中国画の権威であるばかりでなく中国浙江省杭州にある中国美術学院教授も務めております。

本年7月に、北京の中国美術館にて個展が開催され、副住職が開会式にも参列いたしました。当美術館は中国を代表する美術館で非常に名誉であるとのことです。式典も盛会裡に行われ、多数の方々が閲覧に訪れておりました。

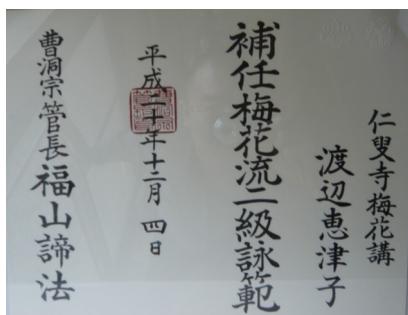
なお、氏の中国画は仁叟寺にも多数現存しております。



↑「蓮」朱穎人筆・仁叟寺蔵  
↓仁叟寺での展示会の様子



### 仁叟寺梅花講員募集中 ～渡辺恵津子さんが二級詠範に昇格～



↑昨年冬に2級詠範の資格を得た仁叟寺梅花講講師の渡辺恵津子さ

副住職が曹洞宗群馬県宗務所の梅花主事を拝命し、2年半が経過いたしました。残りの任期は約1年半ほどとなりますが、精一杯務めさせていただこうと思っております。

さて、梅花講ですが仁叟寺に講が設置されましたのが平成14年。現在月二回の御稽古を始め寺院行事での奉詠や県大会、全国大会、検定会、研修会など様々な行事を講員さんと共にやっております。梅花講に入ってみたい、興味関心のある方は遠慮なくお問い合わせ下さい。老若男女問わず広く門戸を開放しておりますのでこの機会に入講をお勧めいたします。

また、住職夫人の渡辺恵津子さんが、昨年冬に梅花流二級詠範という資格を取得しました。群馬県の梅花流の指導役ともいえる宗務所梅花講師も任命される予定です。おめでとうございます。

### 『仁叟寺誌』監修の外園豊基早大教授が逝去

去る4月10日に、『仁叟寺誌』の監修、副住職夫妻の仲人媒酌人で大学時代のゼミ恩師であります早稲田大学教育学部教授・外園豊基先生がご逝去されました。享年65。『仁叟寺誌』は7年間に亘って編纂作業が進められ、平成19年に刊行されました。その間、大学教授としては勿論、政府関連である文部科学省独立行政法人評価委員など公務ご多忙な中、先生が何度も仁叟寺へ足を運ばれ、漸く刊行に至った経緯がございます。ほか、日本学術会議会員、日本歴史学協会長を歴任されまして、副住職の日本中世史関連の論文発表の際にも色々とお世話になりました。改めまして、ご冥福を祈念申し上げます。



↑『仁叟寺誌』発刊式典でご挨拶をする外園教授

# 新聞に紹介されました

上毛新聞社会面 (7/31付け) 時の話題

第28回子供禅の集いが29、30の両日、高崎市吉井町神保の仁叟寺（渡辺啓司住職）で開かれ、市内外の児童30人が座禅などを体験した。児童に規則正しい生活の中で禅に親しんでもうらおうと、1泊2日の日程で毎年行われている。境内の「坐禅堂」で参加者は目を閉じて座禅を組み、集中力を高めた=写真。このほか、本堂での寝泊りや僧侶が普段行う境内の掃除など日常生活ではできない体験をした。参加した高崎南陽台小6年の佐々



古い携帯電話「供養」吉井の仁叟寺  
リサイクル研究に活用

上毛新聞社会面 (4/9付け)

吉井町神保の仁叟寺（渡辺啓司住職）で八日、使い終わった携帯電話やファクスなどの小型電子機器に感謝し、リサイクルも進めるユニークな「こでん供養」が初めて営まれた。

同寺が東京都の非鉄金属会社「DOWAエコシステム」の協力を得て開いた。呼び掛けに応じた檀家や地域住民らから携帯電話、家庭用ファクス、デジタルカメラ等約二百点が寄せられた。集まった機器類は同社が東北大等と進めているレアメタルリサイクルの研究に役立てられる。

供養では積み上げられた機器類を前に渡辺住職が読経。檀家の女性らが御詠歌を唱える中、約八十人の参列者が身近で役立ってくれた携帯電話などへの感謝を込めて次々と焼香していた。

渡辺龍道副住職は「寺の環境への貢献として針供養をイメージして企画した。可能であれば来年以降も続けていきたい」と話している。供養の後、同社企画室担当部長の仲雅之さんが金属のリサイクルについて講演した。

# 行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

暑中お見舞い申し上げます。さて、拙寺では今年から本格的に御本尊様釈迦三尊像の修復という大事業を行っております。多くの方々より貴重なご淨財を賜りました事、本当に有難く感謝する次第です。500年の歴史があり信仰の源でもある本尊様の修復であります。高崎市指定文化財でもあり、後世に伝える地域の財産であります。無事、修復が施される事を祈念しております。



木華乃さんは「残りの夏休みは、きびきびとした生活が送れそうです」と笑顔で話していた。

吉井町を再発見 TAKATAI紙 (7/10付け)

合併を記念して、吉井町の紹介を二度に亘って掲載。その際に、仁叟寺のほか吉井町歴史散歩道とカヤの木についての伝説を詳しく紹介しております

